第７期　日韓理工系学部予備教育コース

村　上　京　子

第７期日韓理工系学部予備教育コースは，平成18年10月11日から19年３月２日までの６か月（実質18週）間，５名の学生を対象に開講された。このコースは，工学部入学後，勉学や生活に支障のないように，日本語運用および専門基礎能力を養成するために行われるもので，日本語に関しては，日常生活に必要な会話練習のほか，科学読み物を読む，レポートを書く，講義形式のまとまりのある話を聴く等の練習が行われる。また，全学教養科目「留学生と日本―異文化をとおしての日本理解―」や「日本事情」の授業を通じての異文化理解教育も含まれる。専門基礎教育に関しては，数学・物理・化学の各科目について，入学後工学部の講義を無理なく受講できるように，専門用語の習得および工学部１年生の現行のテキストを用いて学部の授業を予習することを主眼に行われる。

日程（18週）

10月11日㈮　日本語診断テスト
10月12日㈫　開講式
10月16日㈬　授業開始
11月１日㈬　バス旅行
12月23日㈫～１月11日㈪　冬休み期間
２月２日㈮　工学部入試のため休講
２月27日㈫　レポート発表会
２月28日㈬　修了試験
３月１日㈭　閉講式
３月２日㈮　バス旅行

表１．科目別時間および担当者，内容

科目	コマ数	時間	担当	内容
日本語	13	420	留学生センター教官・謝金講師６名	会話練習・聴解・文法・作文読解
専門科目	3	108	工学部教官・謝金講師３名	物理・数学・化学
日本事情	1	36	留学生センター教官・謝金講師	ビデオ・新聞等
全学教養科目	1	30	留学生センター教官	日本人学生との合同クラス

時間割

	8：45-10：15 １限	10：30-12：00 ２限	13：00-14：30 ３限	14：45-16：15 ４限
月	文法	教養科目	専門科目数学	漢字・語彙
火	聴解	会話・練習	専門科目物理	
水	会話・練習	NUPACE 専門科目	聴解	課外活動 応用会話
木	作文	聴解	専門科目化学	会話・練習
金	読解	日本事情	OL 聴解	OL 読解・作文

工学部５号館　209番教室

基本テキスト

会話：「現代日本語コース中級Ⅰ，Ⅱ」名古屋大学出版会

聴解：「現代日本語コース中級Ⅰ，Ⅱ聴解オンライン教材」名古屋大学 JEMS

読解：「大学・大学院　留学生の日本語　読解編」アルク

作文：「留学生のための理論的な文章の書き方」スリーエーネットワーク

漢字：「KANJI IN CONTEXT　中・上級学習者のための漢字と語彙」The Japan Times

コースの開始に先立ち行われた日本語診断テストでは，５名の受講生はかなり高いレベルの日本語能力を有し，漢字の読み書きにはある程度困難があるものの，語彙や表現など従来同等あるいはそれ以上の能力をもっていることがわかった。そのため当初用意したカリキュラムでクラス運営を行った。前年度同様教室での授業に加え，インタビューなど教室外活動やオンラインによる日本語コースの受講など積極的に加えた。また，平成18年度からコンピュータ上で日本語会話の音声を聞きながらタスクを遂行していくオンライン聴解教材が本格的に運用されたのにあわせ，毎週金曜日３限にそのための設備と指導体制を整え，全員参加させた。その結果，聴解の成績の大きな伸びが見られた。

１名が途中胸膜炎で２週間入院したほかは，欠席・遅刻も少なく，５名の学習者全員がたいへんまじめな態度で学習し，修了試験では優秀な成績を修めた。例年通り各自テーマを選んでレポートを作成し，２月27日には工学部教員や科目講師も招いて発表会を実施した。